

平成21年度事務事業評価シート (20年度実施事業分)

事業番号	05 01 15	中期総合計画主要施策番号	2-06 3-02	担当課	部・課	衛生部医療政策課		
事業名	助産師支援事業			内線	2622			
				E-mail	iry@pref.nagano.jp			
事業の概要等	事業の目的	助産師が果たす役割に期待が高まっているため、その機能を十分に発揮できるよう、関係者の連携を図るとともに医師との協働による助産師外来などの開設にむけた取り組みを支援する。						
	事業の必要性	【現状(事業の目的との間にどのようなギャップがあるか)】 産科医師が不足し、分娩を取り扱う施設が減少しているため、助産師に対する期待が高まっている。						
		【原因分析(ギャップが発生している原因は何か)】 助産師外来などに従事する助産師には、高い知識・技術が求められる。						
		【課題の特定(事業の実施により解決しようとする課題は何か)】 助産師に期待される役割を果たせるよう、助産師の技術向上等を図る必要がある。						
	事業内容	助産師活動促進検討会や助産師支援研修会を開催し、県内の産科医療を取り巻く現状と課題・支援策について検討するとともに、助産師外来に必要な知識・技術の習得を図る。						
実施期間	H19 ~ H21	根拠法令等						
成果と達成状況	事業の目指す成果	達成度(期待どおり)の判定基準(H20)				達成状況		評価
	助産師活動促進検討会及び研修会を開催し、助産師外来に必要な知識・技術の習得を図る。	助産師支援研修会を前期・後期の2回開催し、医療機関に勤務する助産師が、助産師外来に従事できる知識・技術を身につけられるようにする。				助産師活動促進検討会では、助産師外来開設及び運営のための手引きを作成した。助産師支援研修会を年間で通算6回開催し、助産師外来開設に必要な技術、知識を学ぶ機会を設けた。		a.期待以上 b.期待どおり c.やや下回る d.期待以下
事業コスト	区 分	単位	19年度	20年度	21年度(当初)	20年度の概要		
	最終予算額 (A)	千円	50	1,160	450	国庫・県単	国庫・県単	
	決 算 額 (B)	千円	50	674		実施方法	直接	
	B(H21はA)のうち一般財源	千円	50	338	225	歳出節別内訳等	報償費:302、旅費:152 需用費:171、	
	概 算 人件費	人	0.01	0.01	0.01	(単位:千円)		
	概算事業費 (B(H21はA) + C)	千円	121	745	521			
事業実績	内 容	単位	19年度	20年度	21年度(予定)	左記以外の20年度の実績		
	助産師活動促進検討会	回数	3	3	0			
	助産師支援研修会	回数	4	6	3			
	受講生	人	108	50	30			
事業の課題	区 分	判 定 ・ 説 明						
	事業のニーズの変化	増加	横ばい	減少	判定の説明	助産師外来開設に向けた知識・技術の習得が必要とされている。		
	県の関与を見直す余地	余地なし	当面余地なし	余地あり				
	有効性を高める余地	余地なし	当面余地なし	余地あり				
	効率性を高める余地	余地なし	当面余地なし	余地あり				
	課題の総括	県内の医療機関に勤務する助産師の多くが研修会参加を希望している。今後も研修会を開催し、助産師の技術力の向上を図り、助産師外来、院内助産の開設を支援していく。						